



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください



令和6年(2024年)第3週 2024年1月15日(月)~2024年1月21日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の増加が続いていますが、感染性胃腸炎の報告も増えています。

◆感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)とは

ノロウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、サポウイルスなどのウイルス感染で起こる胃腸炎です。

症状・流行期はウイルスによって異なります。

- ・感染経路…①経口感染:汚染された食品を食べることによる感染。
- ②接触感染:病原体が付着した手で口に触れることによる感染。



ノロウイルスによる胃腸炎

主に吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛がみられ、小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。流行期は11月~3月です。

厚生労働省HP
「ノロウイルスに関するQ&A」



アデノウイルスによる胃腸炎

6歳以下の小児に多く、発熱、下痢、おう吐がみられます。他のウイルスと比較して下痢の期間が長いことが特徴です。年間を通してみられます。

※2020年よりロタウイルスワクチンの定期接種が始まったため、ロタウイルスによる胃腸炎は減少しています。

◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤えん性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。

◆予防法は？

- ・帰宅時や調理前、食事の前、トイレの後などに、**流水と石けんでよく手を洗いましょう。**
- ・ノロウイルス、アデノウイルスともにアルコール消毒が効きにくいので、汚染された衣類や床などは、**次亜塩素酸ナトリウムや熱湯等でしっかり消毒しましょう。**
- また、二次感染を防ぐために便や吐物の処理は、使い捨て手袋やマスクを着用して行いましょう。



定点 種別	期 間		2024年 2週		2024年 3週	
			1/8~1/14		1/15~1/21(最新)	
	疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
C I O V I D - 1 9	インフルエンザ 警報レベル!!	↗	337	13.48	541	21.64
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 注意	↗	263	10.52	405	16.20
小 児 科	RSウイルス感染症	→	0	0.00	0	0.00
	咽頭結膜熱(プール熱) 警報レベル!	→	29	1.81	28	1.75
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 流行中	↗	65	4.06	79	4.94
	感染性胃腸炎 増加中	↑	70	4.38	102	6.38
	水痘(みずぼうそう)	↘	4	0.25	1	0.06
	手足口病	→	2	0.13	4	0.25
	伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	→	6	0.38	6	0.38
	ヘルパンギーナ	→	0	0.00	3	0.19
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	1	0.06	2	0.13
眼 科	急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	→	12	2.40	13	2.60
基 幹	細菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎	→	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00